

令和2年度 瀬谷区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	2年度		元年度		増△減(2-元)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	健やか瀬谷っ子事業	6,568	6,528	6,993	6,953	△ 425	△ 425
2	未来を拓け!瀬谷っ子事業	7,733	7,733	4,010	4,010	3,723	3,723
3	青少年育成支援事業	2,637	2,637	3,262	3,262	△ 625	△ 625
4	児童虐待防止対策事業	1,293	1,293	1,286	1,286	7	7
5	健康せや推進事業	4,987	4,987	5,983	5,983	△ 996	△ 996
6	地域福祉保健計画推進事業	5,176	5,176	4,775	4,775	401	401
7	高齢者支援事業	1,684	1,684	2,120	2,120	△ 436	△ 436
8	高齢者等地域拠点支援事業	2,520	2,520	1,520	1,520	1,000	1,000
9	障害者地域生活支援事業	2,054	2,054	2,104	2,104	△ 50	△ 50
10	まちの安全支援事業	4,779	4,779	4,379	4,379	400	400
11	災害等対策事業	11,567	11,567	11,253	11,253	314	314
12	食の安全と動物愛護等推進事業	1,074	1,074	1,072	1,072	2	2
13	瀬谷の魅力発信・名所づくり事業	6,644	6,294	8,594	7,619	△ 1,950	△ 1,325
14	まちづくり推進事業	6,130	6,130	5,888	5,888	242	242
15	環境行動推進事業	2,770	2,770	2,576	2,576	194	194
16	瀬谷区3R夢推進事業	2,155	2,155	1,955	1,955	200	200
17	区民活動支援事業	9,387	9,387	8,549	8,549	838	838
18	瀬谷フェスティバル	6,700	6,700	6,500	6,500	200	200
19	商工業元気アップ事業	4,705	4,705	4,267	4,267	438	438
20	窓口サービス向上事業	1,297	1,297	1,328	1,328	△ 31	△ 31
21	広報・広聴連携事業	2,632	2,512	1,607	1,547	1,025	965

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成19年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	健やか瀬谷っ子事業
-----	-----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	3
23	4

事業評価書番号	1
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,568		40			6,528
前年度	6,993		40			6,953
増△減	△ 425	0	0	0	0	△ 425

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	7,222	7,464	6,638	予算	事業費	6,568	6,568
	メリット+一般財源	7,139	7,395	6,601		一般財源	6,528	6,528
決算	事業費	6,849	7,185	6,505	決算	事業費		
	メリット+一般財源	6,811	7,145	6,464		一般財源		

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要(目的)	子育て家庭が安心して子どもを育てられるよう、妊娠中から子育てについての知識や情報を提供するとともに、身近な地域での仲間づくりや育児相談、保育施設の利用の紹介を行うことで、子育て力を高めていけるように支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>●瀬谷区の19歳以下の母親の出生数については、人口比で18区中1位、また、母子世帯の割合も市内で1位となっており、若い母親やひとり親家庭等が安心して子どもを生み育てるための支援をしていく必要があります。</p> <p>●家庭で適切な養育を行うことができない養育支援ケースについて、瀬谷区は市内でも高い数字にあります。児童虐待の防止や早期発見・対応をしていくためには、妊娠・出産時や子育て中に健全に育成できるよう予防的な切れ目のない支援を行っていく必要があり、地域や学校等とも連携した支援体制づくりを進めていくことが重要です。</p> <p><19歳以下の母の出生数 人口比(H29)>市内1位 <児童扶養手当受給者数世帯比(H30.3)>市内1位 <養育支援ケース数、児童人口比(H30)>市内1位 <生活保護率 人口割合(H31.3)>市内3位</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度
2 運営方針等との関係	<p>・令和元年度区政運営方針 目標達成に向けた施策『子ども・青少年の育成』</p> <p>・瀬谷区地域福祉保健計画 基本目標『隣近所で見守り・支え合う地域づくり』『健康・長寿をめざす地域づくり』『誰もが活動に参加する地域づくり』</p>
3 根拠法令・要綱等	母子保健法、児童福祉法、横浜市子ども子育て支援事業計画

【実績の推移・今後見込み】

<親育ち・子育て事業>

	29年度実績	30年度実績	元年度4月~7月実績	元年度見込	2年度計画
両親教室参加者数(土曜両親教室)	222(160)	235(173)	60(38)	200(140)	200(140)
赤ちゃん教室参加者数	1,721	1,917	633	1,900	1,900
早寝早起き朝ごはん事業(乳幼児健診)回数	46	39	13	40	40

<思春期命の大切さ啓発事業>

	29年度実績	30年度実績	元年度4月~7月実績	元年度見込	2年度計画
実施回数(実施校数)	5(4)	6(4)	1(1)	5	5

<保育まつり>

	29年度実績	30年度実績	元年度4月~7月実績	元年度見込	2年度計画
参加人数	376	289	—	500	500

【実施内容】

- 親育ち・子育て事業

内容 子育て世帯が安心して子どもを育てられるよう、妊娠から幼児期までの子育てについて、身近な地域での仲間づくりや育児相談などの事業を実施します。

対象者 妊婦及びその夫、未就学児とその養育者
- 思春期命の大切さ啓発事業

内容 小中学生を対象に、地域や学校と連携して、赤ちゃん人形や妊婦体験グッズの貸し出しによる疑似体験や、生命の尊さ、親子の絆、性に対する知識などを学ぶ啓発事業を実施します。

対象者 小学校5~6年生 中学生

場所 学校や地域、PTAの協力の得られる小中学校5校

- 3 保育サービス関連事業
 内容 案内冊子の発行などを通じて、様々な保育サービスの紹介等を行うとともに、保育施設を身近に感じてもらうよう、保育まつり等を実施します。
 対象者 未就学児とその保護者
- 4 来庁者一時託児事業
 内容 区役所に来庁された未就学児をもつ親子を対象に一時託児を行います。
 対象者 0歳～未就学児をもつ来庁者
 回数 開庁日の10時～15時（243日）
- 5 子育て応援事業
 内容 (1)子育て応援ガイドブック「瀬谷区de子育て」修正・増刷・・・妊娠、出産、子育て(乳幼児期～小学生)支援などの子育て支援制度を掲載した子育て応援ガイドブック「瀬谷区de子育て」のデータ修正と、増刷・配布をします。
 (2)区民による子育てマップの修正・増刷・・・子育て当事者が外出時に役立つ情報を掲載したマップのデータ修正と増刷・配布をします。
 (3)イヤイヤ期リーフレット作成・印刷・・・子育ての不安やイライラを軽減するため、イヤイヤ期リーフレットデータ作成と、印刷・配布をします。
 (4)子育て応援イベント・研修会・・・親子で遊べる子育て応援イベントを瀬谷区の子育てに関わる団体と一緒に開催したり、子育てに関する研修会を行い、人材育成や子育てネットワークを充実させます。
 (5)外国籍に関わる子育て世帯への支援・・・外国籍に関わる子育て世帯に対して、通訳により支援を行います。
- 対象者 母子健康手帳申請者、ひとり親世帯、児童扶養手当受給世帯、子育て世帯、外国籍子育て家庭

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
親育ち・子育て事業	自 1,686	自 1,853	△ 167	赤ちゃん教室内部講師活用による減
思春期命の大切な啓発事業	自 155	自 155	0	
保育サービス関連事業	自 858	自 858	0	
来庁者一時託児事業	自 1,994	自 2,002	△ 8	開庁日数減による減
子育て応援事業	自 1,875	自 1,700	175	新規リーフレット作成による増
つながるつなげる瀬谷っ子50周年記念事業	自 0	自 425	△ 425	事業終了による減
事業費合計	6,568	6,993	△ 425	
内 自主企画事業費	6,568	6,993	△ 425	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

人口動態統計、横浜市保健統計年報

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	柴山 一彦	城 可奈子	尾山 武史

[瀬谷 区 子ども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費 子育て・子ども・青少年育成費 子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	学校連携 子育て支援 青少年健全育成	事業開始年度	平成28年度
------	--	---------	--------------------------	--------	--------

事業名
未来を拓け！瀬谷っ子事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
24	5
29	3

事業評価書番号	2
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,733					7,733
前年度	4,010					4,010
増△減	3,723	0	0	0	0	3,723

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度		令和4年度
予算	事業費	2,155	3,088	3,488	7,733	7,733	
	メリット+一般財源	2,155	3,088	3,488	7,733	7,733	
決算	事業費	1,986	2,980	3,021			
	メリット+一般財源	1,986	2,980	3,021			

方針に関する決裁 種別 ()
有:件名 ()、日付 (年 月)
無

事業の概要 (目的)	小・中学生が自己肯定感を高め、夢や希望をもって社会生活を送れるよう、学校・地域・団体等と連携した放課後の学習支援や生活支援を行います。また、学校を中心とした青少年の健全育成や放課後児童の育成を支援します。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等	瀬谷区では、経済的な課題等を抱える世帯が多く、支援が必要な子どももいます。そこで、すべて子どもたちが社会に出て自ら考え行動できるよう、学習習慣や学習意欲を身につけるための放課後の学習支援や、社会生活のスキルを学ぶための体験が必要とされています。 生活保護率(人口比) 市内3位 公営・公社借家比率 市内1位
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和元年度瀬谷区運営方針 「子ども・青少年の育成」「健康増進、福祉の充実」
3 根拠法令・要綱等	横浜市子ども・子育て支援事業計画

【実績の推移・今後見込み】

1 生きる力を育む小学生の学習支援事業																			
	<table border="1"> <tr> <th>実施校</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>元年度見込</th> <th>2年度見込</th> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>6か所</td> <td>7か所</td> <td>8か所</td> <td>10か所</td> </tr> </table>	実施校	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	小学校	6か所	7か所	8か所	10か所								
実施校	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込															
小学校	6か所	7か所	8か所	10か所															
2 瀬谷区版寄り添い型生活支援推進事業																			
(1) 利用(登録)者数※南部は平成31年3月から開所	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>元年度見込</th> <th>2年度見込</th> </tr> <tr> <td>登録者数(北部) (小学生・中学生)</td> <td>47人 (小31人・中16人)</td> <td>43人 (小26人・中17人)</td> <td>45人 (小27人・中18人)</td> <td>45人 (小27人・中18人)</td> <td>45人 (小27人・中18人)</td> </tr> <tr> <td>登録者数(南部) (小学生・中学生)</td> <td></td> <td></td> <td>0人</td> <td>10人 (小8人・中2人)</td> <td>10人 (小8人・中2人)</td> </tr> </table>		28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	登録者数(北部) (小学生・中学生)	47人 (小31人・中16人)	43人 (小26人・中17人)	45人 (小27人・中18人)	45人 (小27人・中18人)	45人 (小27人・中18人)	登録者数(南部) (小学生・中学生)			0人	10人 (小8人・中2人)	10人 (小8人・中2人)
	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込														
登録者数(北部) (小学生・中学生)	47人 (小31人・中16人)	43人 (小26人・中17人)	45人 (小27人・中18人)	45人 (小27人・中18人)	45人 (小27人・中18人)														
登録者数(南部) (小学生・中学生)			0人	10人 (小8人・中2人)	10人 (小8人・中2人)														
(2) 生活体験合宿参加者数※令和元年度から2か所で実施	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>元年度実績</th> <th>2年度見込</th> </tr> <tr> <td>参加人数(北部) (小学生・中学生)</td> <td>19人 (小13人・中6人)</td> <td>25人 (小17人・中8人)</td> <td>22人 (小16人・中6人)</td> <td>17人 (小11人・中6人)</td> <td>25人 (小19人・中6人)</td> </tr> <tr> <td>参加人数(南部) (小学生・中学生)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4人 (小4人・中0人)</td> <td>10人 (小8人・中2人)</td> </tr> </table>		28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	参加人数(北部) (小学生・中学生)	19人 (小13人・中6人)	25人 (小17人・中8人)	22人 (小16人・中6人)	17人 (小11人・中6人)	25人 (小19人・中6人)	参加人数(南部) (小学生・中学生)				4人 (小4人・中0人)	10人 (小8人・中2人)
	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込														
参加人数(北部) (小学生・中学生)	19人 (小13人・中6人)	25人 (小17人・中8人)	22人 (小16人・中6人)	17人 (小11人・中6人)	25人 (小19人・中6人)														
参加人数(南部) (小学生・中学生)				4人 (小4人・中0人)	10人 (小8人・中2人)														
3 学習支援ボランティア養成事業	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>30年度実績</th> <th>元年度実績</th> <th>2年度見込</th> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>1コース(3回)</td> <td>1コース(3回)</td> <td>1回(座学)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>2回(見学・交流会、フォローアップ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1回(区民向け講演会)</td> </tr> </table>		30年度実績	元年度実績	2年度見込	実施回数	1コース(3回)	1コース(3回)	1回(座学)		1回	1回	2回(見学・交流会、フォローアップ)		—	—	1回(区民向け講演会)		
	30年度実績	元年度実績	2年度見込																
実施回数	1コース(3回)	1コース(3回)	1回(座学)																
	1回	1回	2回(見学・交流会、フォローアップ)																
	—	—	1回(区民向け講演会)																
4 放課後児童育成支援事業	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>元年度見込</th> <th>2年度見込</th> </tr> <tr> <td>研修回数</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>のべ参加者数</td> <td>243人</td> <td>216人</td> <td>243人</td> <td>200人</td> <td>200人</td> </tr> </table>		28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	研修回数	4回	4回	4回	4回	4回	のべ参加者数	243人	216人	243人	200人	200人
	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込														
研修回数	4回	4回	4回	4回	4回														
のべ参加者数	243人	216人	243人	200人	200人														

【実施内容】

1 生きる力を育む小学生の学習支援事業

(1) 事業内容

小学校や放課後キッズクラブ、地域等の協力を得て、学習意欲や学習習慣を身につけるための、放課後の学習支援を実施します。

場 所:学校の空き教室等

対 象:希望するすべての児童

講 師:学習アドバイザー(教員OB等)、地域スタッフ

時 期:週1回程度

内 容:宿題、自主的な予習復習、プリント学習、体験学習等

実施校:二つ橋小、原小、南瀬谷小、大門小、上瀬谷小、相沢小、瀬谷小、瀬谷第二小、三ツ境小、瀬谷さくら小

(2) 実施校への支援及び今後の展開について

ア 実施校への支援を行います。(学習アドバイザー紹介や学習支援内容の助言、課題整理等)

イ 実施校以外の学校等において、学校関係者等にヒアリング等を行い、学校ごとの実情を踏まえ、地域資源を活用した学習支援について、関連団体と連携しながら検討します。

2 瀬谷区版寄り添い型生活支援推進事業

瀬谷区寄り添い型生活支援事業を利用している児童・生徒を対象に、支援施設への送迎と学校への登下校時の送迎等を実施し、生活困窮や養育困難等の課題を抱えた世帯への支援の充実を図ります。また、生活リズムの改善や様々な体験を通し成長することを目的として、夏休み期間中に生活体験合宿を北部と南部の2か所で実施します。

3 学習支援ボランティア養成事業

(1) ボランティア養成講座

地域での学習支援を安定的かつ継続的に行っていくため、講座を通じて地域人材の掘り起こしを行い、学習支援の担い手の創出を行います。

(2) ボランティアフォローアップ研修

ボランティア養成講座受講者及び既に瀬谷区内で学習支援を行っているボランティアに対し、研修を実施。ボランティアのスキルアップと交流を通してボランティアの定着を図ります。

(3) 青少年自立支援に向けた講演会

学習支援や就労支援など青少年の自立に向けた支援についての講演会を実施します。

4 放課後児童育成支援事業

区内の放課後児童育成事業(放課後キッズクラブ、放課後児童クラブ)のスタッフに向けて、身近な区役所等で研修会を年間4回実施し、スタッフの資質の向上を目指します。また、活動の様子や参加児童が制作した作品を区民ホールに展示し、区民への事業周知と活動の活性化を目指します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
生きる力を育む小学生の学習支援事業	重 3,315	重 3,000	315	実施校の増
瀬谷区版寄り添い型生活支援推進事業	重 4,150	重 750	3,400	実施内容の変更
学習支援ボランティア養成	重 158	重 150	8	講演会実施による事務費の増
放課後児童育成支援事業	重 110	重 110	0	
			0	
			0	
事業費合計	7,733	4,010	3,723	
内 自主企画事業費	7,733	4,010	3,723	
訳 重点事業	7,733	4,010	3,723	

【根拠とするデータ等】

人口動態統計、横浜市保健統計年報

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭 係
	山梨 真奈美	松浦 基晴	村井 利永

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[瀬谷 区 地域振興 課]

No.	3
-----	---

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成21年度
------	----------------	---------	---------	--------	--------

事業名
青少年育成支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
29	1

事業評価書番号	3
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,637		0			2,637
前年度	3,262		0			3,262
増△減	△ 625	0	0	0	0	△ 625

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	2,249	2,645	2,426	子算	事業費	2,800	2,800
	メリット+一般財源	2,249	2,645	2,426	算	一般財源	2,800	2,800
決算	事業費	2,545	3,510	2,423	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	2,545	3,510	2,423				

事業の概要(目的)	横浜市子ども・子育て支援事業計画等を推進するため、区民や地域の関連団体、学校等と一緒に、青少年の元気で心豊かな成長を支援します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

現代の教育に関する様々な課題のうち、文部科学省(中教審第160号)では、青少年の体験活動に関する課題を挙げています。近年の青少年は、核家族化の進行やインターネット環境が発展していることから、自然や社会などと直接関わることが希薄となっています。そのため、様々な体験事業を行うことを通じて、生きる力を育みます。また、関係各課や区内各青少年育成団体との連携を図りながら、青少年の育成事業を実施します。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望	8 その他
-------------	------------	-------------	-------

2 運営方針等との関係	令和元年度瀬谷区運営方針「子ども・青少年の育成」
-------------	--------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市子ども・子育て支援事業計画、社会教育法第5条、第2期横浜市教育振興基本計画、瀬谷区子ども会育成連絡協議会補助金交付要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

1 セやっこ体験事業

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
せやっこ農体験 参加者数	各回 61人	各回 60人	各回 59人	各回 20~40人	各回 40人
せやっこおしごとチャレンジ 参加者数	83人(4回)	66人(5回)	81人(6回)	44人(3回)	せやっこわくわくワークへ移行
せやっこわくわくワーク 参加者数			831人	1,004人	300人
せやっこだより 配布数	9,000部×6回	9,000部×6回	9,000部×6回	8,500部×6回	8,500部×4回

2 ボランティア促進事業

	28年度実績		29年度実績		30年度実績		元年度見込み		2年度見込み	
情報紙「やってみよう! ボランティア」配布数	中学生	4,150	中学生	4,150	中学生	4,150	中学生	4,150	中学生	4,150
	高校生	3,600	高校生	3,600	高校生	3,600	高校生	3,600	高校生	3,600
中学生ボランティアカード配布数	2,450		2,450		2,000		2,000		1,500	
ボランティア活動報告会発表者数	中・高校生	6	中・高校生	6	中・高校生	5	中・高校生	10	中・高校生	10
	団体・地域・学校	4	団体・地域・学校	2	団体・地域・学校	3	団体・地域・学校	5	団体・地域・学校	3

3 青少年関連団体支援事業

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
子ども会会員数	1,143	1,040	1,040	857	857
区内児童・生徒数	10,356	10,205	9,927	9,646	9,399

様式3-1

【実施内容】

1 セやっこ体験事業

瀬谷区の自然環境等の資源や、市内の大学、地域の青少年関連団体等の繋がりを活かし、自然での体験をはじめとした、文化・芸術・科学等の様々な体験を、次世代を担う子どもたちに経験してもらうことで、社会を生き抜く力を育む支援を行います。

(1) セやっこ農体験

瀬谷区内の農地で収穫体験をすることで、瀬谷区に残る自然に対する理解を深め、郷土を愛する心を育み、地元農家や市民団体と農作業を行うことにより、地域との繋がりを強める機会とします。また、農作業を補助する高校生などの異世代と交流を図ることで、社会性を育みます。

(2) セやっこわくわくワーク

子どもたちが身近な地域で、職業体験などに触れる機会を提供し、また、専門的な知識の講座を受講することで、興味を促し、世の中へ目を向けるきっかけづくりを行います。

(3) セやっこだより (情報紙)

区内の施設等で予定されている小・中学生向け事業、セやっこ体験事業の情報を取りまとめ、小・中学校等を通じて広報する「セやっこだより」を年4回発行します。

2 ボランティア促進事業

(1) 情報紙

区内の全中学生と高校生に、情報紙「やってみよう！ボランティア」、「やってみよう！ボランティア特集号」を配布し、社会参加への理解と関心を高めます。

(2) ボランティアカード

中学1年生全員にボランティアカードを配付し、ボランティアを始めるきっかけづくりを行います。

(3) ボランティア活動報告会

中学生・高校生によるボランティア活動報告会を開催し、地域や受入れ施設等と意見交換することで、地域でのボランティア活動を促進します。

3 青少年関連団体支援事業

瀬谷区子ども会育成連絡協議会に補助金を交付し、地域における青少年育成活動を支援します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 セやっこ体験事業	自 2,092	自 2,331	△ 239	農体験の実施回数の減
2 ボランティア促進事業	自 445	自 331	114	委託費の増
3 青少年関連団体支援事業	自 100	自 600	△ 500	50周年記念事業終了による減
			0	
			0	
事業費合計	2,637	3,262	△ 625	
内 自主企画事業費	2,637	3,262	△ 625	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

瀬谷区内児童・生徒数 (こども家庭支援課調べ)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民協働推進係
	岩上 教行	山口 陽子	海老原 貴徳

[瀬谷 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成24年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	児童虐待防止対策事業
-----	------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
30	1

事業評価書番号	4
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,293					1,293
前年度	1,286					1,286
増△減	7	0	0	0	0	7

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度		令和4年度
予算	事業費	1,432	1,382	1,380	1,293	1,293	
	メリット+一般財源	1,432	1,382	1,380	1,293	1,293	
決算	事業費	1,418	1,274	1,280			
	メリット+一般財源	1,418	1,274	1,280			

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要(目的)	地域の見守り力を高め、瀬谷区全体で児童虐待の早期発見や予防ができるよう、児童虐待防止対策事業を行います。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>●瀬谷区は、家庭で適切な養育を行うことができない養育支援ケースが、児童人口比で横浜市全体より高く、全体として福祉的課題が多い状況にあります。</p> <p>●精神疾患や母子家庭、多子、経済的な困窮、若年出産などの課題を複合的に抱えたケースも多いため、職員の介入頻度も高い状況にあります。児童虐待の防止や早期対応をしていくためにも、妊娠時、出産時、子育て中において必要な支援を行っていくとともに、地域や学校等関係機関と連携した支援体制づくりを進めていく必要があります。</p> <p><19歳以下の母の出生数 人口比(H29) >市内1位 <児童扶養手当受給者数世帯比(H30.3) >市内1位 <養育支援ケース数、児童人口比(H30) >市内1位 <生活保護率 人口割合(H31.3) >市内3位</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度		
-------------	------------	----------	--	--

2 運営方針等との関係	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度区運営方針 目標達成に向けた施策 『子ども・青少年の育成』 瀬谷区地域福祉保健計画 基本目標『隣近所で見守り・支え合う地域づくり』『誰もが活動に参加する地域づくり』
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	児童福祉法、児童虐待防止法 横浜市子ども・子育て支援事業計画
------------	-----------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

<母親のためのリフレッシュ事業>

	29年度実績	30年度実績	元年度4～7月実績	元年度見込	2年度計画
参加者数	248	226	94	240	260

<母親のためのカウンセリング>

	29年度実績	30年度実績	元年度4～7月実績	元年度見込	2年度計画
相談件数	15	18	2	24	32

<支援検討会>

	29年度実績	30年度実績	元年度4～7月実績	元年度見込	2年度計画
開催数	4	3	1	4	4

<児童虐待防止啓発事業>

	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度計画
関係機関向け研修会	3回	3回	3回	3回

【実施内容】

1 児童虐待防止対策事業

(1) 母親のためのリフレッシュ事業

内容 育児不安の軽減や仲間づくりを進めるため、双子を養育している母親や10代の若年の母親等を対象に交流会や教室を実施します。

回数 年13回(双子の会3回、ぶちママの会10回)

場所 区役所

(2) 母親のためのカウンセリング

内容 育児不安が強い母親を対象に、自らが抱える問題に気づき、問題解決を支援するために臨床心理士による個

別カウンセリングを実施します。

回数 カウンセリング：年16回（1回2枠）、カンファレンス：年1回
 場所 区役所

(3) 支援検討会

内容 要支援児童に対する支援策を検討するため、弁護士等を助言者として、関係機関や地域関係団体の実務者による個別ケース検討会及び学習会を実施します。

回数 年4回
 場所 区役所

2 児童虐待防止啓発事業

(1) 児童虐待防止ネットワークづくり推進事業

内容 地域での見守り力を高め、児童虐待の早期発見、発生防止を進めていくことを目的に、地域の理解を深めるために、児童虐待に関する研修会や地区単位での児童虐待防止ネットワークづくりを進めます。

回数 支援関係者向け研修会(年1回)
 エリア別要保護児童対策地域協議会(要保護児童対策地域協議会)年2回

(2) 地域と連携した児童虐待防止啓発事業

内容 子どもと関連のある団体や地域の自治会・町内会と連携して、オレンジリボン及び啓発用グッズの作成・配布や、児童虐待防止啓発パネルの展示など、児童虐待防止の重要性について多くの区民に理解してもらえるよう啓発事業を行います。

時期 児童虐待防止推進月間（11月）やその前後の期間

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
児童虐待防止対策事業	639	532	107	母親のカウンセリング等 実施回数変更による増
児童虐待防止啓発事業	654	754	△ 100	事業見直しによる減
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,293	1,286	7	
内 自主企画事業費	0	0	0	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

人口動態統計、横浜市保健統計年報

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	柴山 一彦	城 可奈子	脇 菜穂子

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	健康せや推進事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1
15	2

事業評価書番号	5
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,987					4,987
前年度	5,983					5,983
増△減	△ 996	0	0	0	0	△ 996

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	7,619	6,911	7,359	予算	事業費	5,000	5,000
	メリット+一般財源	7,619	6,911	7,359		一般財源	5,000	5,000
決算	事業費	7,355	6,756	6,456	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) (無)			
算	メリット+一般財源	7,355	6,756	6,456				

事業の概要(目的)	区民の健康寿命を延ばすことを目指すために、関係機関や団体、区の各課と連携し、健康づくりを推進する人材育成を進めます。また、区民自らが健康づくりに取り組む健康意識を醸成し、それぞれの価値観に基づいた健康づくりに関する正しい知識の普及や予防啓発を、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象に進めます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	瀬谷区の特徴は以下のとおりです。 平成28年度 健康に関する市民意識調査-調査結果概要報告-その他より ・平均寿命、平均自立期間が市平均を下回っている。また、男女共に、心疾患で死亡する者の割合が有意に高い。 ・特定健診、がん検診(肺がんを除く)の受診率が低い。 ・乳がんで死亡する区民が有意に高く、また、乳がん検診受診率も市平均を明らかに下回っている。 ・健康だと自覚している者の割合が、市平均を下回っている。また、健康のために運動する者の割合も低い。 ・複合的な課題を抱えたひとり親世帯が多い。食習慣をはじめ、子どもの育ちに合わせた対応に悩む区民少なくない。
----------	--

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	1 日常の窓口応対等	4 地区懇談会	7 関係団体からの要望
-------------	-----------	------------	---------	-------------

2 運営方針等との関係	健康・福祉の充実
-------------	----------

3 根拠法令・要綱等	がん対策基本法、健康増進法、感染症法、食育基本法、健康横浜21計画、瀬谷区地域福祉保健計画、第2期横浜市食育推進計画
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

生活習慣病予防推進事業

	2年度見込	元年度見込	30年度実績	29年度実績
健康チェック 参加者数	1,600人	1,500人	1,292人	1,800人*

からだまるごと健康フェア

	2年度見込	元年度実績	30年度実績	29年度実績
	5,500人	5,780人	5,760人	5,200人

食育・健口事業

(1) 離乳食はじめ方講座(30年度新規事業)

	2年度見込	元年度見込	30年度実績	29年度実績
	400組	400組	372組	-

(2) 1歳児 食と歯の元気教室

	2年度見込	元年度見込	30年度実績	29年度実績
	90組	90組	102組	95組

(3) 離乳食教室

	2年度見込	元年度見込	30年度実績	29年度実績
	160組	160組	140組	126組

ウォーキング推進事業

令和2年度見込み		元年度実績		30年度実績
講習会	イベント参加	講習会	イベント参加	イベント参加 延223人(うち、80人 保健活動推進員)
6回	150人(一般参加者70人、保健活動推進員80人)	4回	101人(参加者も保健活動推進員)	
300人		195人		

【実施内容】

- 1 生活習慣病予防推進事業
 - ・乳幼児健診や区民祭等の場で、広く啓発活動を行います。
 - ・生活保護受給者向け健康チェックを行います。

横浜市の生活保護率が1.86%に比して瀬谷区は3.29%と高率です。新規開始のうち7割以上が特定健診受診可能な年齢のため、健康チェックを年4回実施し、保健指導と特定健診受診可能な医療機関を紹介し、重症化予防を行います。
- 2 からだまるごと健康フェア

会場については二ツ橋公園を中止し、区役所・公会堂において、瀬谷区医師会、瀬谷歯科医師会、瀬谷区薬剤師会、食生活等改善推進員 他 と協働して、健康チェックや健康相談、講演会などを実施します。区民が自分の体を知ることの出来る機会を設け、生活習慣の改善につなげます。
- 3 食育・健口事業

平成17年7月に「食育基本法」が施行され、平成28年度から第2期横浜市食育推進計画が策定されました。健康な生活を送るためには、幼少期から適切な生活習慣を身につけることが大切です。そこで、親自身が健康であることの大切さを認識し、こどもが家庭で適切な生活習慣を獲得できるように食生活や食に欠かせない「菌の健康」の視点から支援を進めます。

 - (1) 離乳食はじめ方講座

4か月児健診受診の保護者を対象に、離乳食のはじめ方、すすめ方について学べる機会を設けます。(年18回)
 - (2) 離乳食教室

出生数が減少しているが、参加者は増加しており、多様な相談ニーズに対応できるようにするため、相談対応の栄養士を充実します。(年12回)
 - (3) 1歳児 食と菌の元気教室

1歳児とその保護者を対象に、子どもの発達の特徴をふまえ、幼児食へと切り替わる時期の食生活や口の健康について学べる機会を提供していきます。(年9回)
 - (4) ヘルスマイトアクティブサポートプロジェクト

瀬谷区で食育を推進するボランティア団体「食生活等改善推進員会」について、区民に広く活動をPRするための広報を行います。(年2回)
- 4 ウォーキング等健康推進事業

保健活動推進員やウォーキング団体と連携し、ウォーキングポイント事業を活用しながら、活動の活性化を図ります。区民向けのウォーキングイベントを保健活動推進員と区役所が協同して開催します。健康推進の取組を、保健活動推進員を中心に地区に展開していきます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 生活習慣病予防推進事業	自 791	自 704	87	健康チェック事業拡充による増
2 からだまるごと健康フェア	自 2,455	自 3,429	△ 974	開催会場見直しによる減
3 食育・健口事業	自 1,352	自 1,559	△ 207	食改50周年事業終了による減
4 ウォーキング等健康推進事業	自 389	自 291	98	ウォーキングイベント開催による増
			0	
			0	
事業費合計	4,987	5,983	△ 996	
内 自主企画事業費	4,987	5,983	△ 996	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

- ・健康に関する市民意識調査-調査結果概要報告 (H28年度)
- ・横浜市衛生研究所健康疫学統計データ集保健指標 (H24年度-H28年度)
- ・平成30年度瀬谷福祉保健センター事業報告 瀬谷区の福祉と保健*衛生

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	野田 晴子	稲葉 房子	清田 三恵

No.	6
-----	---

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成22年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	地域福祉保健計画推進事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	1
33	1

事業評価書番号	6
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,176					5,176
前年度	4,775					4,775
増△減	401	0	0	0	0	401

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	3,104	3,202	3,015	予算	事業費	5,000	3,300
	メリット+一般財源	3,104	3,202	3,015		一般財源	5,000	3,300
決算	事業費	2,673	2,557	2,824	方針に関する決裁種別() 有:件名()、日付(年 月) 無			
	メリット+一般財源	2,673	2,557	2,824				

事業の概要(目的)	第3期瀬谷区地域福祉保健計画推進及び次期計画策定に向けた事業を実施します。
-----------	---------------------------------------

(説明)

1 地域の課題等	令和2年度は第3期地域福祉保健計画推進5年目にあたります。第3期地域福祉保健計画、福祉保健情報等を広く区民に周知し、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる暮らしやすいまちづくりを進めていくとともに、第4期計画策定を行う必要があります。第4期地域福祉保健計画策定懇談会、地区別計画推進懇談会、地域福祉保健計画推進シンポジウム等を開催し計画を策定・推進していきます。12地区では地区の特性を活かした取組が進んでいますが、地区支援チームの支援と連携が求められています。			
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	4 地区懇談会	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	目標達成に向けた施策 2.健康・福祉の充実			
3 根拠法令・要綱等	社会福祉法、横浜市地域福祉保健計画、瀬谷区地域福祉保健計画、瀬谷区地域福祉保健計画・地区別計画推進事業補助金交付要綱			

【実績の推移・今後見込み】	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
	計画推進シンポジウム参加者数	300	300	350	400	270	250	250	300見込

【実施内容】	
(1) 瀬谷区地域福祉保健計画の推進	
ア 第4期地域福祉保健計画策定懇談会	内容 第4期計画策定に向けて、全域計画策定のための意見交換を行うため、学識者・地域の活動団体の代表者・行政委員を構成メンバーとする策定懇談会を開催します。また、計画の中間案を公表し、区民の皆様へ広く意見を募集します。策定懇談会の支援について、コンサルタントへ委託します。 回数 年3回(5月、10月、12月) 対象者 区内の福祉保健分野等の代表者 26名
イ 地区別計画推進懇談会	内容 瀬谷区地域福祉保健計画・地区別計画推進のため各地区の情報・意見交換のための懇談会を開催します。 回数 年1回(6月) 対象者 各地区の代表者70名程度
ウ 瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウム	内容 次期計画策定のためのシンポジウムを開催します。 実施時期 2月 対象者 各地区の地域福祉保健計画地区別計画推進母体、地域団体関係者、一般区民
エ 地区別計画推進支援	内容 地区別計画の推進母体である地区社会福祉協議会等に対して、各地区の地区別計画推進に関わる事業の活動経費を補助します。
(2) 福祉保健企画運営費	
ア 福祉保健情報の共有・発信等	内容 福祉保健に関する情報や制度等をファイルとしてまとめ、情報提供店の協力により発信する等、全庁的に取り組む福祉保健関連事業について、広く区民へ周知します。
イ 元年度センター事業概要の発行	内容 福祉保健センター関連データを掲載します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
瀬谷区地域福祉保健推進会	自 0	自 28	△ 28	会議廃止による減
瀬谷区地域福祉保健計画の推進	自 4,651	自 3,922	729	次期計画策定による増
福祉保健企画運営費	自 525	自 825	△ 300	平成30年度実績による減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	5,176	4,775	401	
内 自主企画事業費	5,176	4,775	401	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

平成29年度区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	運営企画 係
	野田 晴子	松木 翔	松浦 由希子

[瀬谷 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成22年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名	高齢者支援事業
-----	---------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
16	1~4
17	1~4
28	5

事業評価書番号	7
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,684					1,684
前年度	2,120					2,120
増△減	△ 436	0	0	0	0	△ 436

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度		令和4年度
予算	事業費	1,046	1,836	2,074	1,684	1,684	
	メリット+一般財源	1,046	1,836	2,074	1,684	1,684	
決算	事業費	814	1,026	1,936			
	メリット+一般財源	814	1,026	1,936			

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,684	1,684
	一般財源	1,684	1,684
決算			

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	高齢者及びその家族が、いつまでも住みなれた地域で安心して元気に暮らすことができるよう、認知症や在宅療養等に関し、関係機関とのネットワーク強化と区民への普及啓発を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

高齢化の進展するなかで、高齢者及びその家族が、いつまでも住みなれた地域で安心して元気に暮らすことができるよう、地域で支える仕組みづくりをより一層強化していきます。瀬谷区では、これまでも在宅高齢者サポートネットワークによる多職種の支援者同士の連携を進めてきました。引き続き、各事業を通じたネットワークの強化を図るとともに、区民向け講座による認知症支援、高齢者権利擁護等の普及啓発に取り組みます。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度
-------------	------------	----------

2 運営方針等との関係	目標達成に向けた施策「健康増進・福祉の充実」
-------------	------------------------

3 根拠法令・要綱等	介護保険法、地域保健法、高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律、老人福祉法
------------	---

【実績の推移・今後見込み】
1 地域包括ケア推進事業
瀬谷区は高齢化率が高く、高齢者単身世帯・高齢者夫婦世帯の比率も高い。
高齢化率=市：24.3% 区：27.4%、高齢者単身世帯・高齢者夫婦世帯=16.6%・10.5% ※いずれもH31.3.31現在)

2 在宅高齢者サポートネットワーク事業

年度	28年度	29年度	30年度	元年度見込み	2年度見込み
連絡会等の開催回数	3回	4回	3回	3回	3回
アドバイザー派遣	3回	1回	2回	3回	3回

3 認知症地域支援事業

(1) 認知症サポート医・かかりつけ医等との連携

元年度見込み	認知症医療連携検討会の実施(3回)→医療機関へのヒアリングを通じ、課題の確認、取組の検討を進めます。
2年度見込み	認知症医療連携検討会の実施(3回)→前年度に引き続き取組の検討を進めます。

(2) 認知症キャラバン・メイト養成講座数・養成数

年度	28年度	29年度	30年度	元年度見込み	2年度見込み
講座数	30回	12回	30回	30回	30回
養成数	1,328人	945人	1,394人	1,300人	1,300人

4 高齢期あんしん事業

元年度見込み	エンディングノート書き方講座の実施(10回)、カウンセラーによる介護こころ相談実施(6回)
2年度見込み	エンディングノート書き方講座の実施(10回)、カウンセラーによる介護こころ相談実施(6回)

【実施内容】
1 高齢者支援事業推進費
各事業を通じて、高齢者やその家族を支える仕組みづくりをより一層強化するために、講座の開催や啓発物品の作成などを行います。
・タブレット端末を使用したご案内
窓口対応時や訪問の際に、医療機関情報や各種福祉サービスのご案内、相談者がイメージしやすいよう、タブレット端末を用いてご案内します。

- 2 地域包括ケア推進事業
 団塊世代が75歳以上となる2025年を目途に、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるために、介護・医療・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進するとともに、あらゆる機会を捉えて周知を図ります。
 2年度は、引き続き、見守りキーホルダー（せや八福札）を作成し、地域での見守りを進めます。
- 3 在宅高齢者サポートネットワーク事業
 高齢者の在宅療養を支える支援者同士がより良い連携ができるよう、各職種のスキルアップや、支援者が横につながるような場を提供しながら、ネットワークの強化・充実により、地域包括ケアシステムの構築の推進を図ります。
- (1) 連絡会・多職種交流会の開催
 ・内容 27年4月に法定化された地域ケア会議の実施等を通じて、高齢者やその家族が、安心して介護を受けながら住み慣れた地域で生活するために、医師会や介護サービス事業者、在宅医療相談室等と連携して、在宅療養生活に関するネットワークづくりを進めます。
- ・実施回数 連絡会〔地域ケア会議〕（2回）、多職種交流会（1回）、メーリングリスト部会（1回）
 ・参加機関 医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、在宅医療相談室、近隣病院、居宅介護支援事業所、小規模多機能居宅介護事業所、訪問介護事業所、通所介護事業所、地域包括支援センター、区社協
- (2) アドバイザー派遣
 ・内容 地域包括支援センター等が抱える困難ケース等への助言を行うアドバイザー（専門家）を派遣し、課題解決及び対象者のスキルアップを図ります。
 ・実施回数 3回
- 4 認知症地域支援事業
 認知症の人及びその家族に対して、必要な時に適切な支援につなげられるよう、地域の医療・福祉関係機関及び地域支援者との連携を強化し、見守りあいの取組を進めます。
- (1) 認知症医療連携
 ・内容 瀬谷区における認知症に関する現状と課題を踏まえつつ、認知症患者の早期発見・早期受診につなげるよう作成したフロー図の浸透を図り、地域の一般かかりつけ医と認知症専門医療機関及び地域包括支援センターの連携を進めます。
 ・実施回数 医療連携検討会（3回）
- (2) 認知症キャラバン・メイト活動支援
 ・内容 認知症の普及啓発を目的に「認知症キャラバン・メイト」による地域での活動を支援します。区内各所でキャラバン・メイトによるサポーター養成講座を実施し、認知症に関する理解を広めます。講座の中で使用する紙芝居など様々な物品の充実を図り、キャラバン・メイトの活動がさらに発展するよう支援します。
 ・実施回数 包括エリアごとの支援（5か所）、連絡会（2回）
- (3) 認知症地域支援者合同連絡会
 ・内容 区内で認知症に関連する業務を行う関係機関（キャラバン・メイト、はいかいネットワーク参加機関、地域包括支援センター等）による全体連絡会を開催し、区内の取り組み等を情報共有します。
 ・実施回数 1回
- 5 高齢期あんしん事業
 (1) 成年後見制度等の普及啓発
 ・内容 高齢期を迎えてもいつまでも安心した生活を送れるよう、区民により身近な地域にある地域包括支援センターと連携し、成年後見制度やエンディングノートなど「備え」のための普及啓発を実施します。
 ・実施回数 通年実施
- (2) 介護者のための出張こころ相談
 ・内容 在宅で高齢者を介護する介護者の精神的問題は、多様化、深刻化しているため、専門のカウンセラーによる区役所やケアプラザ等での相談支援のほかに、在宅介護の現場であるご家庭に出張訪問し相談できる機会を設けることで、介護者の精神的負担の軽減を図り、介護を受けている本人及び家族の個別支援や高齢者虐待の防止へとつなげます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
高齢者支援事業推進費	自 714	自 817	△ 103	経費見直しによる減
地域包括ケア推進事業	自 250	自 700	△ 450	事業見直しによる減
在宅高齢者サポートネットワーク事業	自 90	自 132	△ 42	ハートページ活用による減
認知症地域支援事業	自 550	自 375	175	啓発グッズ拡充による増
高齢期あんしん事業	自 80	自 96	△ 16	内部講師活用による減
			0	
事業費合計	1,684	2,120	△ 436	
内 自主企画事業費	1,684	2,120	△ 436	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

横浜市統計ポータルサイト、介護保険認定関係統計

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当 係
	門脇 由美	矢吹 浩二 小山 直博	矢吹 浩二 小山 直博

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成20年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名	高齢者等地域拠点支援事業
-----	--------------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input checked="" type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	---

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	8
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,520					2,520
前年度	1,520					1,520
増△減	1,000	0	0	0	0	1,000

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,670	1,170	1,020	予算	事業費	1,520	1,520
	メリット+一般財源	1,670	1,170	1,020		一般財源	1,520	1,520
決算	事業費	1,467	1,120	1,043	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	1,467	1,120	1,043	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要(目的)	身近な地域におけるひとり暮らし高齢者等の見守り及び生活相談や、地域における多世代の交流による支え合いの推進を図るため、区内の高齢者等地域拠点の活動支援を行います。
-----------	---

【説明】

1 地域の課題等	<p>瀬谷区は高齢化率が高く、高齢者単身世帯・高齢者夫婦の世帯の比率も高い。 高齢化率＝市：24.3% 区：27.4%、高齢者単身世帯・高齢者夫婦世帯＝16.6%・10.5% ※いずれもH31.3.31現在) 瀬谷区は高齢者が多く住む公営住宅の比率が高い。(市：5.9% 区：12.6% ※H27国勢調査)</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	4 地区懇談会
-------------	------------	----------	---------

2 運営方針等との関係	施策「健康・福祉の充実」
-------------	--------------

3 根拠法令・要綱等	瀬谷区市営南台ハイツ「高齢者生活相談所」運営支援事業実施要綱 瀬谷区市営南台ハイツ「高齢者生活相談所」運営支援事業補助金交付要綱 「ぼかぼかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業実施要綱 「ぼかぼかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業補助金交付要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

1 瀬谷区市営南台ハイツ「高齢者生活相談所」運営支援事業
 <高齢者生活相談所「あつて～南瀬谷」利用者実績>

	開所日数	来所者合計(相談者・施設利用者等)			平均来所者数/日	相談者合計			
		来所相談者数	施設見学者・利用者数			来所(再掲)	電話	訪問	
28年度	287日	6,185人	130人	6,055人	21.6人	282人	130人	123人	29人
29年度	284日	5,377人	121人	5,256人	18.9人	235人	121人	97人	17人
30年度	287日	5,180人	155人	5,025人	18.0人	299人	155人	109人	35人
元年度(見込み)	290日	5,600人	140人	5,500人	19.3人	280人	140人	110人	30人
2年度(見込み)	290日	5,600人	140人	5,500人	19.3人	280人	140人	110人	30人

2 「ぼかぼかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業
 <事業見込み>

	開所日数	利用者数	利用者平均人数/日
27年度	304日	9,527人	31.3人
28年度	282日	8,124人	28.8人
29年度	284日	8,849人	31.2人
30年度(見込み)	290日	8,900人	30.7人
元年度(見込み)	290日	8,900人	30.7人

【実施内容】

- 1 瀬谷区市営南台ハイツ「高齢者生活相談所」運営支援事業
 高齢者生活相談所「あつて～南瀬谷」の安定的な拠点運営を図るため、運営支援(事業費補助)を行います。
- 事業内容: ①生活や福祉に関する相談 ②電話訪問等による定期的な見守り ③地域活動に対する場の提供 ④福祉保健情報の収集・発信 ⑤各種講座やイベント情報の提供
 - 運営者: NPO法人せや
 - 実施場所: 市営南台ハイツB24棟106号室

2 「ぼかぼかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業

「ぼかぼかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業の推進を図るため、事業支援（事業費補助）を行います。

・事業内容：①買物支援事業 ②学習支援事業 ③その他交流事業

・実施場所：阿久和南部地区地域福祉・交流拠点「ぼかぼかプラザ」（県営阿久和団地ショッピングセンター内）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
共通経費	自 20	自 20	0	
高齢者生活相談所運営支援事業	自 2,000	自 1,000	1,000	衛生面の改善等による増
「ぼかぼかプラザ」支えあい推進事業	自 500	自 500	0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,520	1,520	1,000	
内 自主企画事業費	2,520	1,520	1,000	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

横浜市統計ポータルサイト、介護保険認定関係統計、H27国勢調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当 係
	門脇 由美	小山 直博	小山 直博

[瀬谷 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	障害者地域生活支援事業
-----	-------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
31	1
32	4,5

事業評価書番号	9
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,054					2,054
前年度	2,104					2,104
増△減	△ 50	0	0	0	0	△ 50

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,659	2,109	2,159	予算	事業費	2,054	2,054
	メリット+一般財源	1,659	2,109	2,159		一般財源	2,054	2,054
決算	事業費	1,694	1,922	1,901	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	1,694	1,922	1,901	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	障害者の地域生活を支援するため、障害理解促進の啓発や、障害者地域自立支援協議会の運営支援等を通じた関係機関のネットワーク作りを進めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	障害者支援の地域移行・地域定着が進むなかで、障害者が暮らしやすい地域づくりが求められています。 ・障害者が地域で安心して生活できるよう、地域住民の障害理解の促進が必要です。 ・障害者地域自立支援協議会など関係機関とのネットワーク作りを進め、地域で障害者を支える体制づくりが必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 8 その他
2 運営方針等との関係	瀬谷区運営方針 施策「健康増進、福祉の充実」 瀬谷区地域福祉保健計画 基本目標Ⅰ「隣近所で見守り・支え合う地域づくり」
3 根拠法令・要綱等	障害者基本法、知的障害者福祉法、身体障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法、障害者総合支援法、障害者虐待防止法、障害者差別解消法

【実績の推移・今後見込み】

	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度見込	令和2年度見込
自立支援協議会交流会議 開催回数	4回	3回	3回	3回	3回
まんまるフェスタ 参加人数	267人	361人	250人	400人	400人
作業所自主製品駅前販売 開催回数	-	2回	4回	4回	4回

【実施内容】

- ネットワーク活動
障害者地域自立支援協議会の運営を通して、障害者支援機関のネットワーク作りを進めます。
- 障害理解促進事業
まんまるフェスタ、障害理解出前講座等を開催し、地域の障害理解を促進します。
障害福祉事業所自主製品の販売促進等を支援し、障害理解の促進及び働く障害者の工賃向上とやりがいづくりを行います。
- 自殺対策啓発事業
自殺対策啓発講演会、ゲートキーパー養成研修を開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ネットワーク活動	自 404	自 354	50	支援者研修開催経費の増
障害理解促進事業	自 1,100	自 850	250	障害作業所等活動支援事業との統合
自殺対策啓発事業	自 550	自 500	50	規模拡大による増
障害作業所等活動支援事業	自 0	自 400	△ 400	障害理解促進事業との統合
事業費合計	2,054	2,104	△ 50	
内 自主企画事業費	2,054	2,104	△ 50	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

自殺者数・自殺率(全国、横浜市、瀬谷区)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	障害者支援担当 係
	門脇 由美	入間田 浩子	入間田 浩子

様式3-1

(様式3-1) 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[瀬谷 区 地域振興 課]

No.	10
-----	----

予算区分	防犯・防災・安全対策費 防犯・防災・安全対策費	性質・ 課題区分	防犯 交通安全	事業開始年度	平成22年度
------	----------------------------	-------------	------------	--------	--------

事業名
まちの安全支援事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	5

事業評価 書番号	10
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,779					4,779
前年度	4,379					4,379
増△減	400	0	0	0	0	400

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	4,762	4,862	4,696	予算	事業費	4,779	4,779
	メリット+一般財源	4,762	4,862	4,696		一般財源	4,779	4,779
決算	事業費	4,577	4,831	4,568	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) (無)			
	メリット+一般財源	4,577	4,831	4,568				

事業の概要 (目的)	安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、関係団体との連携を図りながら、区民の防犯・交通安全意識の啓発・向上を図ります。また、駅周辺において放置自転車対策を実施します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	市内・区内で振り込み詐欺の発生件数が増加傾向にある為、地域防犯に関する啓発活動が必要です。また、区内で発生する交通事故のうち、子ども・高齢者に関する事故が多くを占めているため、子ども・高齢者への啓発活動を行います。さらに、駅周辺における放置自転車対策を実施します。(道路局へ区配予算の要望書を提出。)
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	区運営方針〔施策〕安全・安心のまちづくり
-------------	----------------------

3 根拠法令・要綱等	瀬谷区地域防犯自主活動補助金交付要綱、瀬谷区防犯活動団体補助金交付要綱、横浜市自転車等の放置防止に関する条例、自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱、スクールゾーン推進組織活動費補助金交付要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

- 区内犯罪認知件数の推移(1月~12月)

年	平成28年	平成29年	平成30年
件数	798	643	708
- 区内人身事故発生件数の推移(1月~12月)

年	平成28年	平成29年	平成30年
件数	494	549	494
- 区内駅周辺放置自転車・バイク台数の推移(11月、平日1日定点調査)

年度	平成28年	平成29年	平成30年
瀬谷駅	41	36	57
三ツ境駅	17	27	27

【実施内容】

- 地域防犯支援事業
 - 「地域ふれあい110番」事業
 - 防犯啓発事業
 - 防犯活動団体等補助事業
- 交通マナーアップ事業
 - ストップ・ザ・放置自転車
 - 子どもと高齢者の交通安全対策
 - スクールゾーン対策助成等
 - 交通安全対策協議会運営
 - 交通安全キャンペーン

様式3-1

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域防犯支援事業	自 1,195	自 1,195	0	
交通マナーアップ事業	自 3,584	自 3,184	400	自転車マナーアップ事業の強化
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	4,779	4,379	400	
内 自主企画事業費	4,779	4,379	400	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

犯罪認知件数の推移、人身事故発生件数の推移、横浜市内鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	岩上 教行	井戸 司	小野寺 聡

(瀬谷 区 - 10)

No.	11
-----	----

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成22年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名	災害等対策事業
-----	---------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	3

事業評価書番号	11
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	11,567					11,567
前年度	11,253					11,253
増△減	314	0	0	0	0	314

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	8,240	8,948	8,243	予算	事業費	11,567	11,567
	メリット+一般財源	8,240	8,948	8,243		一般財源	11,567	11,567
決算	事業費	8,861	10,473	9,223	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) (無)			
	メリット+一般財源	8,861	10,473	9,223				

事業の概要(目的)	防災訓練や研修会を継続して開催するとともに、区内防災関連団体とも連携した防災減災啓発活動を実施し、区民の自助・共助意識の向上を図ります。災害対策では、区災害対策(警戒)本部運営において適切な対応をすることで、被害を最小限にし、災害時医療体制の整備や災害対策備蓄品の充実等、区の災害対策の機能強化を目的に事業を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>・地域が実施する防災力向上に向けた取組の練度・習熟度の面で差があり、自助・共助のさらなる啓発による区内の防災力向上を図る必要があります。</p> <p>・区内各防災関連団体の取組の情報共有を進めるなど、発災時の実践的連携につながるよう啓発等を強化する必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	II 目標達成に向けた施策 3安全・安心のまちづくり
3 根拠法令・要綱等	瀬谷区災害ボランティア育成事業補助金交付要綱・瀬谷区災害医療連絡会議設置要綱・横浜市防災計画

【実績の推移・今後見込み】

(区本部設置回数)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
	13回	15回	18回	12回	13回※

※1月末日現在

【実施内容】

- 1 地域防災関係事業
- 地域防災力向上事業<拡充>
防災総合講座、体験型プログラムを実施するとともに、自治会町内会等地域での訓練や研修会を支援します。
 - 町の防災組織機能強化事業
地域の初期消火能力向上の取組や町の防災組織の体制づくり等を支援します。
 - 災害時ペット対策事業
災害時に必要な備えやしつけについて記載した啓発チラシやペット手帳を配付して啓発するとともに、ペット同行避難を普及するために地域防災拠点で訓練やシミュレーションを行います。
 - 地域防災拠点訓練(震災対策訓練)
地域防災拠点 区内15箇所の小中学校等で、年2回(秋季・冬季)実施予定です。
(秋季は防災週間、冬季は防災とボランティア週間を中心に実施します)
 - 水害対策訓練
住民避難訓練、図上訓練を実施します。(瀬谷第二連合、本郷地区連合、瀬谷北部町内連合で実施予定)
 - 災害ボランティア支援事業
瀬谷区災害ボランティアネットワークの自主活動の支援を図ります。
災害ボランティア講習会(訓練)を開催します。年2回(社会福祉協議会会議室等)です。
 - リアルタイム浸水警報事業
区内2ヶ所に設置した水位計により、水位警報を周辺住民に伝達し、注意喚起を図るとともにデータを区役所に集約し、水害対策に活用します。
・設置箇所：阿久和川三ツ境大原公園付近及び大門川本郷三丁目公園付近
・警告方法：サイレン及び回転灯
 - 防災スピーカー運用及び維持管理
瀬谷六丁目及び周辺の境川浸水想定区域に設置される4基のスピーカーの運用に伴い、避難勧告等の情報を周辺住民に伝達し、避難行動に繋げるとともに、維持管理を実施します。

- 2 災害時医療体制整備事業
- (1) 区災害医療連絡会議等の開催
行政（区役所・警察・消防）と医療関係団体による区災害医療連絡会議等を開催し、情報共有を図ります。
 - (2) 医療従事者向け研修
災害時に備えて、区内の医療従事者（医師・看護師・薬剤師・医療機関職員・区保健師）等を対象に、災害時医療をテーマに研修を実施します。
 - (3) 災害時医療体制の啓発
災害時医療のリーフレットを更新し、「地域防災拠点運営委員会連絡協議会」「地域防災総合講座」等で配布します。
- 3 区本部運営関係事業
- (1) 区災害対策（警戒）本部の設置
気象警報・水防警報・地震発生等に伴い設置します。瀬谷区災害対应当番班等要員が区役所に参集し、本部を設置・運営します。
 - (2) 区本部運営訓練
区災害対策本部の機能強化のため、年2回（秋季・冬季）実施します。
 - (3) 合同水害対策
関係機関相互で情報共有を図り、連携強化します。
 - (4) 防災対策連絡協議会
区内防災関係機関等と防災対策について情報共有と連絡調整を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域防災力向上事業	重 8,345	重 7,247	1,098	防災連携活動実施による増
災害時医療体制整備事業	重 722	重 1,062	△ 340	医療拠点等整備終了による減
区本部運営関係事業	重 2,500	重 2,944	△ 444	区本部食料経費の局予算活用による減
			0	
			0	
			0	
事業費合計	11,567	11,253	314	
内 自主企画事業費	11,567	11,253	314	
訳 重点事業	11,567	11,253	314	

【根拠とするデータ等】

震度、各種警報発令、河川水位量、気象データ、「横浜市民の危機管理アンケート調査」等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	村上 謙介	小山 智央	今野 大哉

[瀬谷 区 生活衛生 課]

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・課題区分	動物愛護・適正飼育 その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成15年度
------	------------------------	---------	--------------------------	--------	--------

事業名	食の安全と動物愛護等推進事業
-----	----------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	12
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,074	0	0			1,074
前年度	1,072	0	0			1,072
増△減	2	0	0	0	0	2

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	864	940	863
メリット+一般財源	864	940	863
決算			
事業費	834	796	766
決算			
メリット+一般財源	834	796	766

歳出	令和3年度	令和4年度
事業費	1,000	1,000
一般財源	1,000	1,000

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設、学校行事、地域活動での食中毒・感染症予防のために、衛生講習会や予防啓発を実施する。 ・ペット飼育のマナー向上や動物愛護精神の涵養のために、マナー向上啓発や飼い主向け講習会を実施する。 ・飼い主のいない猫問題への対策として、市民ボランティア等市民活動団体との協働により不妊去勢手術と適正管理を推進する。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ノロウイルス等による食中毒・感染症は一年を通して多く発生しており、蔓延のリスクが高い保育園・幼稚園や小学校、高齢者施設等の自主衛生管理の定着と推進が必要 ・地域の催事やボランティア活動、学校行事等では食品が提供される機会が多く、こうした活動の衛生確保のために継続的の支援が必要 ・ペットの飼育に関する苦情は多く寄せられており、飼い主のマナー向上や動物愛護の推進に向けた継続的な啓発が必要 ・飼い主のいない猫による糞尿等の近隣トラブルが多く寄せられており、行政、地域、ボランティアの三者が連携した取り組みが必要
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	区政運営方針の目標達成に向けた施策「安全・安心のまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生法 ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 ・動物の愛護及び管理に関する法律 ・横浜市猫の適正飼育ガイドライン 他

【実績の推移・今後見込み】

衛生講習会	28年度	29年度	30年度	元年度見込	飼い犬への苦情	28年度	29年度	30年度	猫への苦情	28年度	29年度	30年度
開催回数(回)	33	35	21	25	受付件数	105	85	131	受付件数	195	158	244
参加人数(人)	1039	1015	750	800	件数				不妊去勢補助件数	145※	121	220

※飼い猫を除く

【実施内容】

細目事業名	実施内容
食中毒・感染症予防対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設等への衛生点検、情報提供 ・学校行事・地域行事・配食サービス等の実施団体への衛生講習会
動物愛護普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・犬の飼い主向けマナー向上啓発 / 飼い主向けペットの災害対策啓発 ・新たな犬の飼い主向け「犬のしつけ方教室」 / 長寿動物の優良飼主表彰
飼い主のいない猫対策支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民による飼い主のいない猫の不妊去勢手術実施を支援 ・地域・市民ボランティア等と協働による地域での猫との共生を目指した啓発・広報活動

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
食中毒・感染症予防対策事業	627	640	△ 13	消耗品の在庫対応による減
動物愛護普及啓発事業	247	432	△ 185	動物愛護普及啓発事業に一部移管
飼い主のいない猫対策支援事業	200	0	200	動物愛護普及啓発事業から移管
事業費合計	1,074	1,072	2	
内 自主企画事業費	1,074	1,072	2	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

平成30年食中毒発生状況、平成30年度動物業務月報、平成29年度動物愛護管理関係業務概要

課長	係長	生活衛生 係
本資料は、公正・適正に作成しました。	亀井 昭夫	川崎 俊明

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成23年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	瀬谷の魅力発信・名所づくり事業
-----	-----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	7
9	1
13	4

事業評価書番号	13
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,644	0	350			6,294
前年度	8,594	0	975			7,619
増△減	△ 1,950	0	△ 625	0	0	△ 1,325

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度		令和4年度
予	事業費	3,027	5,750	6,681	5,000	5,000	
算	メリット+一般財源	3,027	5,750	6,681	5,000	5,000	
決	事業費	4,026	5,633	5,835	方針に関する決裁 種別()		
算	メリット+一般財源	4,026	5,633	5,835	有:件名()、日付(年月)		

無

事業の概要(目的)	水・緑豊かな環境や歴史、瀬谷の逸品などの“地域資源”を活用した様々な取組により、瀬谷の魅力を総合的に継続的に発信します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・区民に瀬谷区の様々な魅力を知ってもらうことで、瀬谷区に対する愛着を持ってもらい、地域の活性化と区民満足度の向上につなげていく必要がある。 ・平成29年度区民意識調査では、瀬谷区民の定住意向は69.0%であり、市全体(66.6%)よりも高いものの近隣区(H26 旭区 80.5%)と比べると低い結果が出ている。また、同調査における「商店街の活力、賑わい」についての不満度は最も高い(不満、やや不満と回答している割合 58.4%)。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート		
-------------	------------	-----------	--	--

2 運営方針等との関係	令和元年度瀬谷区運営方針「魅力の創出・区民協働の推進」新たな魅力の創出や自然・歴史などの地域資源の活用により、瀬谷の魅力を発信
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

■30年度

- (1)瀬谷の魅力写真展事業(区制50周年記念カレンダー全戸配布:11月、約5万世帯)
- (2)瀬谷の魅力発見!スタンプラリー(10~3月、50店舗)
- (3)瀬谷オープンガーデン(開催:4月20日~22日、5月11日~13日、見学者アンケート回答数:736名、次年度募集:8~12月)
- (4)和泉川魅力PR事業(イベント実施:8月、『和泉川いきものガイド』改訂:1月)
- (5)アジサイの名所づくり事業(植樹時期:12月、植樹箇所:区内の公園)
- (6)「瀬谷の史跡めぐりガイドブック」制作事業(編集委員会設立:6月、編集会議開催:6~3月/月1回程度)
- (7)瀬谷ふるさと歴史さんぽ道事業(ガイドマップ配布、ウォーキング参加者への記念品交付:通年)

■元年度

- (1)瀬谷オープンガーデン(開催:4月19日~21日、5月10日~12日、見学者アンケート回答数:618名、次年度募集:10~11月)
- (2)和泉川魅力PR事業(8月)
- (3)アジサイの名所づくり事業(6月)
- (4)バラのおもてなし事業(公共施設への折り紙作品展示:5~6月、区庁舎へのプランター設置:10月)
- (5)せやまる大花壇事業(設置時期:~5月及び9月~10月)
- (6)イルミネーション事業(仮称)(12月)
- (7)「瀬谷の史跡めぐりガイドブック」制作事業(発行:10月、編集会議:4~3月/月1回程度)
- (8)瀬谷ふるさと歴史さんぽ道事業(ガイドマップ配布、ウォーキング参加者への記念品交付:通年)

【実施内容】

- 1 国際園芸博覧会機運醸成事業<新規>
内容:国際園芸博覧会の開催に向けて、機運を醸成する取組を実施します。また、区内関係団体と一体で実行委員会を設立します。
実施時期:イベント実施(5月)

- 2 瀬谷の魅力オープンガーデン事業
内容：個人宅・店舗等の庭や、公園の花壇等を、瀬谷区の魅力的な名所として巡っていただくオープンガーデン事業を実施します。
実施時期：開催（4～5月）、次年度募集（10～11月）、ガーデニング講座（夏季～秋季）
- 3 せやマルシェ（仮称）＜新規＞
内容：水・緑豊かな自然を生かした取組みの一つとして、「農」を通じた取組みを行うことで、区の新たな魅力を区内外に発信します。
実施時期：11月
- 4 イルミネーション事業（仮称）
内容：冬季の新たな魅力を創出するため、企業等と連携しながら、イルミネーションイベントを実施します。
- 5 アジサイの名所づくり事業＜拡充＞
内容：区制50周年を記念し植樹したアジサイについて、新たな瀬谷区の名所として発信します。
また、ボランティア団体等と連携を図りながら、維持管理を行います。
- 6 瀬谷の歴史・見どころ発信事業
内容：「瀬谷ふるさと歴史さんぽ道ガイドマップ」を配布し、瀬谷の魅力を発信します。
併せて、ガイドマップに掲載されたコースを歩く区民グループに記念品を交付し、ウォーキングの推進を図ります。
令和元年10月に発行した「瀬谷史跡めぐりガイドブック」の販売を行うことで、区民の方々に瀬谷の歴史を知るきっかけを創出します。
- 7 各種ツールによる魅力PR事業
内容：イベント、インターネット、タウン誌などのさまざまな媒体を活用し、瀬谷の魅力を発信します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
国際園芸博覧会機運醸成事業＜新規＞	重 1,000	0	1,000	新規事業による増
瀬谷の魅力オープンガーデン事業	重 1,488	重 1,996	△ 508	局予算活用による減
せやマルシェ（仮称）＜新規＞	重 100	0	100	新規事業による増
イルミネーション事業（仮称）＜拡充＞	重 2,500	重 1,100	1,400	事業拡充による増
和泉川魅力PR事業	0	重 201	△ 201	事業統合による減
アジサイの名所づくり事業＜拡充＞	重 700	重 360	340	事業拡充による増
バラのおもてなし事業	0	重 550	△ 550	事業終了による減
せやまる大花壇事業	0	重 1,000	△ 1,000	事業終了による減
「瀬谷区の史跡を巡るガイドブック」（仮称）制作事業	0	重 1,442	△ 1,442	事業終了による減
瀬谷の歴史・見どころ発信事業	重 376	重 130	246	記念品購入による増
各種ツールによる魅力発信事業	重 480	重 1,815	△ 1,335	区制50周年関連経費の減
事業費合計	6,644	8,594	△ 1,950	
内 自主企画事業費	6,644	8,594	△ 1,950	
訳 重点事業	6,644	8,594	△ 1,950	

【根拠とするデータ等】

平成29年度区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	八子 俊昇	古市 悟志	樋口 智子

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[瀬谷 区 区政推進 課]

No.	14
-----	----

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成18年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名 まちづくり推進事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	事業評価書番号	14
	重点事業	○	新規・拡充	○	21	5	事業評価書番号	
	温暖化対策関連事業			38	1			

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,130	0	0			6,130
前年度	5,888	0	0			5,888
増△減	242	0	0	0	0	242

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	4,164	5,206	4,646	予算	事業費	6,000	6,000
決算	メリット+一般財源	4,164	5,206	4,646	決算	一般財源	6,000	6,000
決算	事業費	4,091	4,177	4,722	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、目付(年月)			
決算	メリット+一般財源	4,091	4,177	4,722	無			

事業の概要(目的)	時代とともに変化する区民ニーズを捉え、いつまでも暮らしやすく活力と魅力あふれるまちづくりに向けた施策に取り組んでいきます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	いつまでも暮らしやすく活力と魅力あふれるまちづくりを推進していくためには、時代とともに変化する区民ニーズを迅速かつ的確に捉え、運営方針や様々な施策に反映させる必要があります。また、施策の推進のためには区民の意向を十分に踏まえ、関係機関との連絡・調整などを行う必要があります。特に旧上瀬谷通信施設において、土地利用の検討が進められるとともに国際園芸博の招致にむけて取り組んでおり、そうした状況を踏まえ、より一層区民意向の把握や関係機関との連絡調整に取り組むことが求められています。
----------	---

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望		
-------------	-----------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係	令和元年度 瀬谷区運営方針 II. 目標達成に向けた施策「魅力の創出・区民協働の推進」
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

- ◆H30年度
 - ・上瀬谷通信施設返還対策協議会における検討
 - ・瀬谷駅北口駅前広場活用推進協議会における広場活用の検討
- ◆R元年度
 - ・上瀬谷通信施設返還対策協議会における検討
 - ・区民意識調査の実施
 - ・瀬谷駅北口駅前広場活用推進協議会における広場活用の検討

【実施内容】

- 1 まちづくり調整
暮らしやすく活力と魅力あふれるまちづくりを実現するため、旧上瀬谷通信施設の土地利用に関する検討を始めとした、区のまちづくりに関する区民や関係機関との連絡調整等を行います。特に国際園芸博の玄関口となる瀬谷駅北口において、賑わいを創出するための仕組みを検討します。
- 2 区民文化センター愛称募集<新規>
令和4年3月の開設に向けて、区民が愛着を持つ施設とするため愛称を公募します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 まちづくり調整	自 6,000	自 3,846	2,154	事業拡充による増
2 区民文化センター愛称募集<新規>	自 130	自 0	130	新規事業による増
3 区民意識調査	自 0	自 2,042	△ 2,042	今回は令和5年度に実施
			0	
			0	
			0	
事業費合計	6,130	5,888	242	
内 自主企画事業費	6,130	5,888	242	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】
平成29年度区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 八子 俊昇	係長 服部 芳一	企画調整 係 村野 晃代
--------------------	-------------	-------------	-----------------

[瀬谷 区 区政推進 課]

予算区分	街づくり推進費 地域コミュニティ費	性質・ 課題区 分	水・緑環境保全 環境美化	事業開始年度	平成21年度
------	----------------------	-----------------	-----------------	--------	--------

事業名	環境行動推進事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
9	3
12	1

事業評価 書番号	15
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,770	0	0			2,770
前年度	2,576	0	0			2,576
増△減	194	0	0	0	0	194

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度		令和4年度
予	事業費	2,131	1,824	1,950	2,150	2,150	
算	メリット+一般財源	2,131	1,824	1,950	2,150	2,150	
決	事業費	1,940	1,576	1,898	方針に関する決裁 種別()		
算	メリット+一般財源	1,940	1,576	1,898	有:件名()、日付(年月)		

事業の概要 (目的)	区民が身近で気軽に取り組むことができる温暖化防止行動の提案と繰り返しの啓発を行うことで、 区民の環境意識を高め、行動への一助とします。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等

地球温暖化の主な原因であるCO₂の排出量のうち、横浜市では家庭からの排出量が占める割合が日本全国と比較して高いのが特徴です。そこで、家庭からのCO₂排出量削減のため、区民が家庭でできる省エネや緑化などの身近な温暖化防止行動を実践しやすくなるような支援が求められています。特に行動を起こしていない人の後押しをするため普及啓発に重点を置くと同時に、子どもの頃から環境行動に慣れ親しんでもらうことで、次世代への効果的な意識付けを行う必要があります。

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望		
-------------	-----------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係 令和元年度瀬谷区運営方針 目標達成に向けた施策「魅力の創出・区民協働の推進」

3 根拠法令・要綱等 地球温暖化対策の推進に関する法律

【実績の推移・今後見込み】

<緑のサポーター(区民ボランティア)による花苗の育成数>

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
約3,500	約3,000	約3,000	約3,000

<クールシェア参加者数>

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
830人	1,020人	1,130人	1,150人

【実施内容】

1 環境行動普及啓発事業

(1) 啓発・広報活動
多くの区民に環境行動について知ってもらうため、区民祭り等の区内イベントを通じた啓発活動や、幅広く継続した広報活動に取り組みます。

(2) 温暖化対策啓発イベントの実施
温暖化対策について、区民が楽しみながら学べるように啓発イベントを実施します。

(3) 環境保全イベントの実施
スポーツ感覚で楽しみながらごみ拾いを行い、環境行動に親しむとともに、地域を知る取組を実施します。

2 緑化推進事業

(1) 緑のサポーター(区民ボランティア)による花苗の育成と緑化推進
継続した区内の緑化推進等を目的として、以下のことを行います。

- 花まる育苗センター(通称)において、緑のサポーターによる花苗や緑のカーテン用苗等の育成を行う。
- 公共施設(保育園、小学校等)、自治会館等へ花苗や緑のカーテン用苗等を提供し、緑のサポーターによる苗の植え付け作業の指導や作業補助を行う。
- 区内保育園、小学校に緑のカーテン資材を配布し、環境学習の機会を提供する。

(2) 二つ橋高等特別支援学校生徒による花苗等の育成
二つ橋高等特別支援学校と連携し、授業における職業訓練の一環として、生徒に緑の大切さを学びながらアジサイ等の苗木を育ててもらいます。育てた苗木は区民祭りで配布し、区内の緑化に貢献します。

3 節電啓発事業
昨年まで個別に実施していたクールシェアPR(区内施設とタイアップし、夏場に涼しく過ごせる場所を皆で共有する考え方)と冬の節電PRをまとめ、季節に限らず通年にわたり節電の推進PRを行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
環境行動普及啓発事業	自 1,097	自 694	403	元年度実績に基づく増
緑化推進事業	自 823	自 1,082	△ 259	フェンス改修完了による減
節電啓発事業	自 850	自 800	50	通年実施に伴う経費の増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,770	2,576	194	
内 自主企画事業費	2,770	2,576	194	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

平成29年度区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	八子 俊昇	古市 悟志	岡本 有生

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成17年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名	瀬谷区3R夢推進事業
-----	------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	6

事業評価書番号	17
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,155	0	0			2,155
前年度	1,955	0	0			1,955
増△減	200	0	0	0	0	200

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	1,956	1,700	1,700	予算	事業費	2,155	2,155
	メリット+一般財源	1,956	1,700	1,700		一般財源	2,155	2,155
決算	事業費	1,958	1,675	1,689	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) (無)			
	メリット+一般財源	1,958	1,675	1,689				

事業の概要(目的)	区民が身近で気軽に取り組むことができる3R行動の提案と繰り返しの啓発を行うことで、区民の環境意識を高め、3R夢プランを一層推進します。また、まちの美化、ごみの減量化・資源化に取り組み、ごみ処理に伴い排出される温室効果ガスの削減を目指します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等
家庭から出るごみと資源の総量を減らし、ごみ処理に伴う温室効果ガスの総量を削減することが求められています。地域への3R行動の普及啓発に重点を置くと同時に、子どもの頃から環境行動に慣れ親しんでもらうことで、次世代への更なる3R行動の推進を図る必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート		
-------------	------------	-----------	--	--

2 運営方針等との関係
・目標達成に向けた施策「魅力の創出・区民協働の推進」

3 根拠法令・要綱等
・横浜市一般廃棄物処理基本計画(ヨコハマ3R夢プラン推進計画)
・横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

一人1日あたりのごみと資源の総量

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度(目標)
kg/人・日	621	613	608	600	595

【実施内容】

1 3R夢推進事業

(1) 3R夢啓発

ヨコハマ3R夢プランを推進するため、区民が取り組みやすい啓発を地域、環境事業推進委員、消費生活推進員、資源循環局瀬谷事務所と連携しながら進めます。環境汚染問題や温室効果ガス発生など環境負荷増大の一因となるプラスチック対策に取り組みます。また、保育園児・小学生等を対象に、紙芝居、買い物ゲーム、収集車を活用した出前教室(収集体験)などを実施します。

(2) リユース文庫

読み終えて必要でなくなった本を繰り返し使ってもらふ文庫の運営を継続します。

(3) 子育て世帯3R夢推進事業

こども家庭支援課と連携し、3歳児健診やこんにちは赤ちゃん訪問の際におむつの出し方等の啓発チラシ・グッズを配布します。また、小学生の親子向け啓発チラシの配布や、食材を無駄にしない料理方法などを学ぶ3R夢な親子クッキング講座を実施します。

2 きれいなまちづくり推進事業

(1) 区民清掃活動の推進

資源循環局瀬谷事務所や土木事務所などの関係部署と連携し、年間を通して各地域の団体が実施する地域清掃活動を支援します。

(2) クリーンストリート事業

まちの美化を促進するため、区内の使っていない公有地に地域のクリーンストリート団体が植栽活動をするための花苗配布等の支援をします。

(3) 不法投棄防止事業

区内不法投棄多発地域の不法投棄を防ぐため、不法投棄防止警報システムの維持・管理を行います。

様式3-1

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
3R夢推進事業	自 1,770	自 1,570	200	プラスチック対策の拡充による増
きれいなまちづくり推進事業	自 385	自 385	0	
事業費合計	2,155	1,955	200	
内 自主企画事業費	2,155	1,955	200	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

ごみと資源の総量の実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当 係
	澤野 仁晴	長田 弘房	丸橋 敏之

[瀬谷 区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費 文化・スポーツ・学習振興費 文化・スポーツ・学習振興費	性質・ 課題区分	地域コミュニティ 生涯学習 文化・スポーツ	事業開始年度	平成22年度
------	---	-------------	-----------------------------	--------	--------

事業名	区民活動支援事業
-----	----------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input checked="" type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	---

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	18
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	9,387					9,387
前年度	8,549					8,549
増△減	838	0	0	0	0	838

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	6,664	7,339	6,883	予算	事業費	9,387	9,387
	メリット+一般財源	6,664	7,339	6,883		一般財源	9,387	9,387
決算	事業費	5,828	7,864	7,178	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	5,828	7,864	7,178	有:件名()、日付(年 月)			
(無)								

事業の概要 (目的)	区役所が地域社会と協働して地域の活性化・地域力の向上を図るために、区民の活動を様々な視点から支援します。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>区役所は、区民個人・団体とコミュニケーションを密にし、協働して地域振興を図る必要があります。そのため、区民の活動（文化スポーツ等）を様々な視点から支援し、地域の課題解決につなげる必要があります。</p> <p>また、協働によるまちづくりをより推進するために、区民同士の交流やネットワークづくりを支援するとともに、人材育成や新たな区民活動団体の育成が必要です。</p>
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	-------------

2 運営方針等との関係	魅力の創出・区民協働の推進
-------------	---------------

3 根拠法令・要綱等	瀬谷区いきいき区民活動支援補助金交付要綱、横浜市市民協働条例、瀬谷区自治会町内会長永年在職者表彰要綱、瀬谷区自治会町内会広報掲示板整備事業補助金要綱、瀬谷区生き生き区民顕彰要綱、瀬谷区体育協会補助金交付要綱、横浜市民の読書活動の推進に関する条例、瀬谷区読書活動推進目標
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

1 いきいき区民活動支援事業	単位：回				
補助金交付団体数	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
	24	23	17	16	18
2 生涯学習支援事業	単位：回				
生涯学習講座数	H28実績	H29実績	H30見込	R1見込	R2見込
	5	3	3	3	4
3 読書との出会い応援事業	単位：回				
情報共有会議・懇談会	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
	5	4	2	3	3
小学校図書館巡回読書リレー	4	4	4	4	4
講座・読書フェスタ等	1	12	15	2	2
4 スポーツ振興事業	単位：回				
種目区民大会・スポーツ教室	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
	72	70	75	70	70
5 地域活動推進事業	単位：千円				
事業項目	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
依頼業務負担軽減事業	827	826	862	847	1,132
自治会町内会長感謝会	584	601	623	849	787
自治会町内会掲示板補助事業				550	550
6 生き生き区民顕彰事業	単位：回				
被顕彰者数(個人)	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
	17	21	23	18	22
被顕彰者数(団体)	2	2	1	2	2

【実施内容】

- 1 いきいき区民活動支援事業
 - (1) いきいき区民活動支援補助金
区内で自主的に活動している団体が実施する地域の課題解決や活性化につながる事業及び活動に対し、補助金を交付します。
 - (2) 地域人材発掘・育成事業
若年層や子育て世代、リタイア層など様々な世代の区民の方々に地域活動の重要性を知り関心を持ってもらう「人材発掘事業」を展開するとともに、発掘した人材のステップアップとして「人材育成事業」を実施します。
- 2 生涯学習支援事業
区民活動や仲間づくりのきっかけとして、区民の方々の学びの場を提供する生涯学習講座を実施します。
- 3 読書との出会い応援事業
令和元年から始まった第二次横浜市読書「瀬谷区読書活動推進目標」に基づいて、様々な分野から読書への関心を高め、更なる区民の読書意欲の向上を図ります。
 - (1) 読書活動啓発事業<拡充事業>
読書活動の担い手の拡大やスキルアップのための講座、読書活動の啓発等を実施します。
また、小学校に学年別お勧めセット本を貸し出し、児童が書いた紹介・推薦文を区内小学校に巡回する小学校図書館巡回読書リレーを実施します。(年4校)
 - (2) 瀬谷区読書スタンプラリー事業<新規事業>
区内小・中学生を対象に本を読んだらスタンプを押し、ゴールまで達成すると記念品がもらえる読書スタンプラリーを実施し、読書習慣の定着化と読書の推進を図ります。
 - (3) 学校図書館等連携事業<新規事業>
児童の読書機会を増やすことを目的に図書館と区内の小学校や保育園と連携を図り、本の団体貸出しを行います。(月1回、計年12回)
- 4 スポーツ振興事業
 - (1) スポーツ振興事務
東京2020オリンピック・パラリンピック競技種目の体験会、プロスポーツチームとの連携事業等を行い、スポーツの振興を図ります。
 - (2) 体育協会補助事業
加盟種目協会(22団体)で構成される区体育協会に補助金を交付し、区民スポーツ大会・教室等の地域スポーツ活動を支援します。
- 5 地域活動推進事業
 - (1) 依頼業務負担軽減事業
自治会町内会への各種依頼資料等の配送をします。(年10回実施)
 - (2) 自治会町内会長感謝会
自治会町内会長の協働に感謝の意を表し、永年在職等会長の慰労・感謝及び区長との意見交換を実施します。(年1回)
 - (3) 自治会町内会掲示板補助事業
自治会町内会で所有している、またはこれから所有する掲示板に対して、整備のための補助金を交付します。
- 6 生き生き区民顕彰事業
地域活動やスポーツなどの分野で区民を元気づけるような、生き生きとした活動をされている方を顕彰します。
なお、被顕彰者は、地域や学校等から推薦を受けた方の中から、区民の代表者等を委員とする懇談会の意見を参考に決定します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
いきいき区民活動支援事業	4,296	4,796	△ 500	申請団体減見込みによる減
生涯学習支援事業	406	217	189	講座回数増による増
読書との出会い応援事業	1,590	698	892	新規事業による増
スポーツ振興事業	410	410	0	
地域活動推進事業	2,469	2,246	223	資料配送費の増
生き生き区民顕彰事業	216	182	34	顕彰対象人数に伴う増
事業費合計	9,387	8,549	838	
内 自主企画事業費	9,387	8,549	838	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

自治会町内会加入世帯数及び加入率の推移

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民協働推進 係
	岩上 教行	古尾谷 節子	平山 茉莉香

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名	瀬谷フェスティバル
-----	-----------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 新規・拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	---

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	19
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,700					6,700
前年度	6,500					6,500
増△減	200	0	0	0	0	200

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	4,500	4,500	5,000	予算	事業費	6,700	6,700
	メリット+一般財源	4,500	4,500	5,000		一般財源	6,700	6,700
決算	事業費	4,780	4,140	5,043	方針に関する決裁種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	4,780	4,140	5,043				

事業の概要(目的)	区民の連帯感を深め、ふるさと意識の高揚を図るためのイベントとして開催します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬谷で暮らすことの幸せを実感していただけるよう、区が進める「幸せが実感できる瀬谷づくり」の定着を図る必要があります。 ・協働により潤い溢れる地域社会を形成するためのツールとして、区民や団体・ボランティア、企業など関係する多くの方々の参画を得て開催します。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	魅力の創出・区民協働の推進
3 根拠法令・要綱等	瀬谷フェスティバル実行委員会規約、瀬谷フェスティバル補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度(※)	30年度実績	元年度見込み	2年度見込み
出店ブース数	124ブース	121ブース	110ブース	110	110ブース	110ブース
リサイクルマーケット	77ブース	73ブース	65ブース	49ブース	49ブース	49ブース
来場者数	65,000人	60,000人	-	60,000人	60,000人	60,000人

※開催中止の為参考値

【実施内容】

区民が一体となった、瀬谷区最大のイベントとして瀬谷フェスティバルを開催するため、瀬谷フェスティバル実行委員会に補助金を交付します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
瀬谷フェスティバル	自 6,700	自 6,500	200	委託費の増
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	6,700	6,500	200	
内 自主企画事業費	6,700	6,500	200	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

過去開催実績(出店ブース数、ステージイベント、フリーマーケット出店数)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 岩上 教行	係長 井戸 司	地域活動係 柳沼 佑成
--------------------	-------------	------------	----------------

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成22年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	商工業元気アップ事業
-----	------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
1	4

事業評価書番号	20
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,705					4,705
前年度	4,267					4,267
増△減	438	0	0	0	0	438

歳出	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業費	2,551	2,747	3,317
メリット+一般財源	2,551	2,747	3,317
決算 事業費	2,542	2,738	3,301
決算 メリット+一般財源	2,542	2,738	3,301

歳出	令和3年度	令和4年度
事業費	3,625	3,625
一般財源	3,625	3,625
方針に関する決裁 種別()		
右:件名()、日付(年月)		
(無)		

事業の概要(目的)	区役所が地域と協働して商工業の活性化を図ります。
-----------	--------------------------

(説明)

1 地域の課題等	区役所は、区民個人・団体とコミュニケーションを密にし、協働して地域振興を図る必要があります。そのため、商工業の活動を様々な視点から支援し、課題解決につなげる必要があります。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望	
2 運営方針等との関係	魅力の創出・区民協働の推進		
3 根拠法令・要綱等	商店街元気づくり事業補助金交付要綱、瀬谷の逸品認定要綱		

【実績の推移・今後見込み】						
	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
助成金交付団	延べ7	延べ8	延べ9	延べ9	延べ8	延べ8

- 【実施内容】
- 瀬谷の逸品事業
 - 認定した瀬谷の逸品を区内のイベントや民間メディア等を活用し、区の内外に向けて広くPRしていきます。
 - <PR方法> 全店掲載チラシを各施設や区内イベントで配布、瀬谷フェスティバルに瀬谷の逸品ブースを出店
 - 瀬谷の逸品追加認定を行います。また、瀬谷の逸品をPRする販売会を開催します。
 - <認定方法> 追加認定候補の店舗・商品を募集し、区民モニターによる審査を行い、認定。
 - 商店街元気づくり事業
 - 商店街匠の技講座を実施します。
 - 商店街の自主企画事業に対して補助金を交付します。
 - 商店街ウォークイベントを実施します。
 - 商店街での買い物を促進するイベントを実施します。<新規>
 - ものづくり支援事業
 - 中小製造者を紹介するホームページを更新します。
 - 中小製造者を紹介するパネル展を開催します。

【事業費の内訳】					
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	
瀬谷の逸品事業	自 1,580	自 660	920	逸品追加認定、販売会による増	
商店街元気づくり事業	自 2,155	自 3,307	△ 1,152	事業終了による減	
ものづくり支援事業	自 970	自 300	670	パネル展開催による増	
事業費合計	4,705	4,267	438		
内 自主企画事業費	4,705	4,267	438		
内 重点事業	0	0	0		

【根拠とするデータ等】
区内商店街数、商店街実態調査(30年度、経済局)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	岩上 教行	井戸 司	柳沼 佑成

(様式3-1) 令和2年度事業計画書【自主企画事業費】

[瀬谷区 総務課]

No.	20
-----	----

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	窓口サービス向上	事業開始年度	平成25年度
------	--------	---------	----------	--------	--------

事業名 窓口サービス向上事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 21
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,297					1,297
前年度	1,328					1,328
増△減	△ 31	0	0	0	0	△ 31

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予	事業費	1,429	1,506	1,262	予	事業費	1,328	1,328
算	メリット+一般財源	1,429	1,506	1,262	算	一般財源	1,328	1,328
決	事業費	1,639	1,121	1,147	方針に関する決裁種別() 有:件名()、目付(年月) (無)			
算	メリット+一般財源	1,639	1,121	1,147				

事業の概要 (目的)	瀬谷区職員として必要とされる基本的な知識を身につけ、市民の立場に心を配ったおもてなしができる職員を育成し、区役所全体の窓口サービスの向上を図ります。 また、区民満足度の向上を目的とし、フロア案内のボランティアの配置を行います。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>区役所窓口では区民からの多岐にわたる要望に応えるため、常に迅速かつ正確丁寧な案内が求められる。業務に関する正確な知識を持ち、公平かつ迅速で心のこもった対応のできる職員を育成し、区全体で対応力の向上を目指す仕組みづくりが必要である。また、区民と協働し、親しまれる区役所づくりと区民サービスの向上を進める。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望
2 運営方針等との関係	目標達成に向けた組織運営 区民満足度の向上
3 根拠法令・要綱等	せやまるサポーター運営要綱、せやまるサポーター功労者感謝状贈呈要綱

【実績の推移・今後見込み】

1 職員応対・接遇向上研修 (単位：人)

	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2見込
新採用・転入職員研修(年1回)	45	35	35	33	35
対応力向上研修(年5回)	334	323	320	330	330

【実施内容】

1 職員応対・接遇向上研修
 対応力向上を図るため、専門コンサルタントに委託して新採用・転入職員研修および対応力全体研修を実施します。

2 せやまるサポーター
 登録ボランティアによる、来庁者への庁舎案内を行います。(区役所平日開庁日に実施、1日3交代制)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
職員応対・接遇向上研修	自 310	自 310	0	
せやまるサポーター	自 987	自 1,018	△ 31	案内板の更新終了による
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,297	1,328	△ 31	
内 自主企画事業費	1,297	1,328	△ 31	
内 訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

○市民局実施による窓口サービス満足度調査結果の「満足+やや満足」比率(経年変化)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
瀬谷区	96.7%	98.7%	98.7%	97.7%	98.0%
全区平均	94.3%	96.7%	97.2%	97.2%	97.6%

○平成29年度 瀬谷区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 村上 謙介 八子 俊昇	係長 川瀬 倫子 曾田 文恵	庶務・広報相談 係 岡田 唯 小田 雄太郎
--------------------	----------------------	----------------------	-----------------------------

様式3-1

（様式3-1） 令和2年度 事業計画書【自主企画事業費】

[瀬谷 区 区政推進 課]

No.	21
-----	----

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成21年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	広報・広聴連携事業
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	22
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,632		120			2,512
前年度	1,607		60			1,547
増△減	1,025	0	60	0	0	965

歳出		平成28年度	平成29年度	平成30年度	歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	2,096	489	2,059	子算	事業費	2,653	2,653
	メリット+一般財源	1,548	429	1,939		一般財源	2,653	2,653
決算	事業費	1,644	505	1,459	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	1,596	457	1,363				

事業の概要(目的)	区政に関する情報をホームページやSNS等の媒体を活用して分かりやすく伝えとともに、町のご意見番制度(区長とあったかトーク等)を通じ、区民との対話を大切にしたい信頼される区役所を目指します。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	【広報事業】 ・ホームページやSNSなどの各種広報媒体の特性を生かしながら、区民へ区政やイベント等の情報発信・提供の充実を図っていくことが求められている。 【広聴事業】 ・区民に身近な区役所を実現するため、区の施策等に対して区民からの声が寄せられるよう、引き続きさまざまな広聴事業の展開を図るとともに、今後の運営に生かしていく必要がある。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート 6 区民要望
2 運営方針等との関係	令和元年度瀬谷区運営方針 共感と信頼の区役所(区民満足度の向上、職員満足度の向上)
3 根拠法令・要綱等	瀬谷区「区長とあったかトーク」実施要領、瀬谷区「このはずく提案箱」事業の実施に関する取扱要綱、インターネット情報受信発信ガイドライン

【実績の推移・今後見込み】

広報事業【ホームページアクセス件数】

年度	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込	元年度見込	2年度見込
件数	108,037	104,046	108,910	108,700	180,000	180,000

○ 町のご意見番制度(区長とあったかトーク、市民からの提案)

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込
区長とあったかトーク	4団体	4団体	4団体	2団体	2団体	2団体
市民からの提案(※)	204通	211通	197通	234通	252通	252通

※瀬谷区が受け付け、広聴データベースシステムで処理した「市民からの提案」等の通数

【実施内容】

- 1 広報事業
区ホームページやメールマガジン、SNSを活用した情報発信・提供を実施。
- 2 マスコットキャラクター活用事業
瀬谷区マスコットキャラクターせやまるのデザイン使用管理及び着ぐるみの運用。
- 3 せや百科
瀬谷区の生活情報誌「せや百科」の発行(6,000部)。*転入者を中心に配布
- 4 区民生活・防災マップ
瀬谷区内の地形、施設、防災情報等をわかりやすく掲載した地図の作成、配布(隔年発行・予定数23,000部、総務課と合同で作成、区政推進課発行予定数17,000部)
- 5 町のご意見番制度
市の広聴事業である「市民の声事業」を運用するほか、瀬谷区独自広聴である「このはずく提案箱」や区長と区民が町の課題や特定のテーマについて直接対話する「区長とあったかトーク」を実施(年2回程度開催予定)。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
広報事業	自 297	自 524	△ 227	備品費減による減
マスコットキャラクター活用事業	自 460	自 571	△ 111	一部事業終了による減
せや百科	自 830	自 497	333	配布袋の隔年作成による増
区民生活・防災マップ	自 1,030	自 0	1,030	隔年作成による増
町のご意見番制度	自 15	自 15	0	
			0	
事業費合計	2,632	1,607	1,025	
内 自主企画事業費	2,632	1,607	1,025	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

平成29年度瀬谷区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談 係
	八子 俊昇	會田 文恵	小田 雄太郎